



大原中だより

さいたま市立大原中学校
TEL 048-831-5397
FAX 048-835-5397

校 訓 「歴史を拓く」

学校教育目標 はつらつとした生徒、地域に輝く学校

第 3 号

令和4年6月1日

メールアドレス：ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ：https://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

お互いを認め合い、助け合いながら、心と心のパス交換を

校長 岡村 洋彦

木々の緑が日に日に濃くなり、紫色の花の似合う季節になりました。

ところでここ数年、オリンピック・パラリンピックをはじめ、様々なスポーツの国際大会が日本国内で開催されてきました。その中でも埼玉県熊谷市が開催都市となったラグビーワールドカップ2019から、早いもので3年が経ちましたが、記憶に新しい大会です。

ラグビーのチームワークを表す言葉に「One for all, All for one」があります。昔のテレビドラマの中で、「『一人はみんなのために、みんなは一人のために』これがラグビー精神を表す言葉」というシーンが有名です。また、「One for all, All for one」には、「一人はみんなのために、みんなは一つの目的（目標）（勝利）のために」という意味もあるようです。いずれにしてもラグビーで、スクラムを組み、ボールを奪い、パスを出したり、受け取ったりしながら、相手の陣地に突進していく姿を見ていると、一人ひとりが自分の役割を果たし、チームで力を合わせながら目的に向かって突き進む力強さを感じます。

チームには、パスが上手な選手、力が強い選手、ペナルティキックが得意な選手、タックルが上手な選手、走るのが速い選手など様々な個性をもった選手がいます。選手たちは、自分の得意な面を活かしながらチームのためにプレーをし、チームは個々の選手の個性を引き出し、チームとしての力を高めています。

学校もまた、ラグビーチームと同じように、一人ひとりの子どもが、いろいろな場面でそれぞれの持ち味を発揮しながら、育っていくところです。個性は得意なことばかりではなく、苦手なこともあつての個性です。子どもたちはお互いの個性を認め合いながら、またあるときは助け合いながら学級や学年、学校を作り上げ、チーム力を高めていきます。そこには、「自分の気持ちを相手に伝える」、「相手の気持ちを受け止める」という心と心のパスもあるはずで、数多くの人にパスを出し、数多くの人からパスを受け取り、前進していく集団。子どもたちが「One for all, All for one」を発揮できるように、学校では上記のような話を6月の講話朝礼で行う予定です。

今後とも本校の学校教育にご理解、ご協力をお願いいたします。

